

テストまたはサーベイは、質問(はい/いいえ、単一選択、テキスト入力)やその他のイベント資料(画像やHTMLファイル等)から作成することができます。

概要

テストまたはサーベイを作成、実施するには次の手順を実行してください。:

ステップ 1: テスト/サーベイを作成

ステップ 2: 参加者にテスト/サーベイを送信

ステップ 3: 参加者の応答をレビュー

ステップ 4: テスト/サーベイを終了し、結果を保存

ステップ 5: テスト/サーベイの結果を表示

ステップ 1: テスト/サーベイを作成

テストまたはサーベイの作成方法:

- 資料エディタを利用し、テストやサーベイを挿入したい場所のイベント資料のアイテムを右クリックします。
- 挿入** > **テスト** をクリックし、[テストの挿入] ウィンドウを表示します。
- 詳細** タブから、テストの名前を入力し、必要であればメモを挿入します。
- オプション** タブから、**テスト** または **サーベイ** モードを選択し(テストでは、または採点なしを選択します。)、**OK** をクリックします。

テストまたはサーベイの質問作成方法:

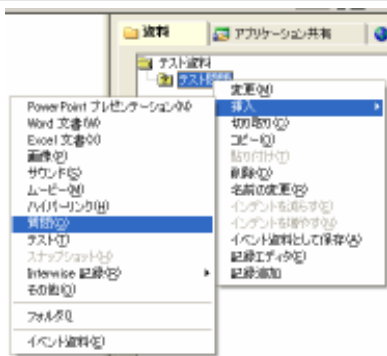
3つの種類の質問があります。- はい/いいえ、単一選択、そしてテキスト入力

- イベント資料のアイテムを右クリックし、**挿入** > **質問** を選択します。
- 質問の種類を選択し、**OK** をクリックします。
- 次の詳細を入力します。: タイトル、質問、答え(複数選択の場合のみ)、正解。 **採点比を調整** を選択した場合、採点は手動で入力します。

メモ: 採点フィールドの左側のチェックボックスを選択すると複数選択オプションが有効になります。

- 保存** をクリックします。

メモ: テキスト入力の質問は参加者人数の多いセッションではお勧め致しません。



テストやサーベイに他のイベント資料を追加する方法:

画像ファイルやHTMLファイルのようなその他のイベント資料をテストやサーベイに追加することができます。

- イベント資料パネルから、アイテムを挿入したい場所を右クリックし、**挿入** を選択します。
- 挿入したいアイテムの種類を選択します(**画像**、**サウンド**、**動画**等)。挿入ウィンドウが表示されます。
- 詳細** タブから、アイテムの名前を定義し、ファイルの参照先を指定し、必要であればメモを挿入します。
- アイテムの種類に従い、**オプション** タブからロードアクションを定義します。
- OK** をクリックします。アイテムはイベント資料パネルに挿入されます。

ステップ 2: テスト/サーベイの送信

作成終了後は、テスト/サーベイを参加者に送信する前に、テスト/サーベイを含めた資料をICCにアップロードします。

パティシパントアプリケーションで接続後は、送信したいテスト/サーベイをダブルクリックします。通信が完了すると、テスト/サーベイは自動的に参加者のホワイトボードに表示されます。

- (開始後) 分刻みの経過時間が **終了** ボタンの左側に表示されます。
- テスト中、参加者と会話することができます。
- テスト開始後に接続した参加者は、テストを受けることができません。
- テスト/サーベイ中に切断された参加者はテストが進行中であれば、再接続後、続行することができます。
- アプリケーションを閉じる前に、必ずテスト/サーベイを終了してください。テスト/サーベイを終了しなかった場合には、すべてのテスト/サーベイ結果データは失われます。

ステップ 3: 応答のレビュー

モデレータはそれぞれの参加者のテスト/サーベイへの応答結果をレビューすることができます。テスト/サーベイには3つの異なる種類があります。:

サーベイ, **採点しない**, そして **採点比を調整**

メモ: 参加者の回答は、自動的にテキストファイルに保存されます。(ステップ5参照)

サーベイに対する回答を解釈する方法:

- 連続した各質問は、テストウィンドウの列番号のひとつになります。列は一覧の参加者のとりにそれぞれの回答を表示します。

メモ: 列番号をクリックすると、質問ウィンドウを表示します。正解が同時に表示されるように指定することもできます。

Y = 「はい/いいえ」質問に対する「はい」回答

N = 「はい/いいえ」質問に対する「いいえ」回答

1-5 = サーベイ質問に対する数字回答

Blank = この質問に対して未回答

+ = テキスト入力質問に対する回答

- 2 回答の平均値(回答数÷全回答)が参加者一覧の下、「平均」に表示されます。

採点しないまたは採点比を調整するテストの回答を解釈する方法:

- 1 採点しないまたは採点比を調整するテストでの連続した各質問は、テストウィンドウの列数のひとつとなります。列は、一覧のそれぞれの参加者のとなりに回答を表示します。

メモ: 列数をクリックすると、質問ウィンドウを表示します。

- 2 回答マーク: **緑**は正解、**赤**は不正解を意味します。採点する質問はグレー、採点しない質問は白です。

- 3 Y = 「はいいいえ」質問に対する「はい」回答

N = 「はいいいえ」質問に対する「いいえ」回答

1-5 = サーベイ質問に対する数字回答

+ = テキスト入力質問に対する回答

メモ: + をクリックすると、下のボックスにテキスト入力された回答を閲覧できます。

Blank = この質問に対して未回答

- 4 参加者一覧の下、「正解」の行にそれぞれの質問に対する正解率を表示します。

採点比を調整するテストでは、次の3つのステップが必要です。:

- 5 成績は、最後の質問後、列に表示されます。それぞれの正解に対する合計点です。
- 6 テキスト入力に対する成績を変更するには、**終了**ボタンをクリックして、テキスト入力質問の+ をクリックします。そして**成績**ボタンの左側のボックス内の成績を変更します。

メモ: 成績をクリックすると総合成績を再計算します。

- 7 成績を送信するには、**結果を参加者に送る**を選択します。成績はプライベートメモとして送信されます。

メモ: テストやサーベイの終了後に**共有**をクリックすると、参加者とテストやサーベイ回答を共有することもできます。



ステップ 4: テスト/サーベイの終了と結果の保存

- 1 **終了**をクリックします。テスト/サーベイを終了しますか?という確認メッセージが表示されます。
- 2 **はい**をクリックします。この操作により参加者のホワイトボードからテスト/サーベイは削除されます。結果のコピーが自動的に保存されます。: `participant\Reports`。
- 3 ICCに結果送信をクリックすると、結果は下記に保存されます。:
`\\ftpVc\Reports\<Virtual ICC name>`。

ステップ 5: 結果の参照

テキストファイルの結果を参照する方法:

- 1 `participant\Reports` フォルダを選択します。...
TXTファイルは、アンダースコアで分けられたいくつかのパラメータで成り立っています。

例: `TR10_3_1508_1619.TXT`。

パラメータ	ノテーション
テストレポート	TR
コース番号	10
イベント番号	3
日付 (DDMM)	1508
時間 (HHMM)	1619

- 2 ファイルをダブルクリックします。

結果をエクセルで表示する方法:

パティシパントのインストールにはExcelアドイン(*.xla file)が含まれています。このアドインはテスト結果ファイルをエクセルのワークブックに変換します。*.xla ファイルのロケーションは、`participant\AddIns` フォルダです。

メモ: テキストファイルの情報と同じものですが、ユーザによってはエクセルのほうが使いやすいこともあります。

エクセルのワークブックを開く方法:

- 1 エクセルのファイルメニューから、**Interwise Reportを開く**をクリックします。
- 2 `participant\Reports` フォルダから適切なレポートを選択し、**開く**をクリックします。新しいエクセルのワークブックがテキストファイルより自動的に作成されます。

エクセルのワークブックの解釈の方法:

- 一般情報
コース名、番号、セクションとセッション番号、セッションID、インストラクター、参加者人数、テストの開始時間と終了時間
- 質問
番号、タイトル、種類、質問の内容、採点、正解
- 回答
参加者名、ID、Q1答え、成績、O2答え、成績...総合成績

エクセルアドインのインストール方法:

Open Interwise Report コマンドがエクセルのファイルメニュー下にはない場合には、次の方法で追加します。

- 1 エクセルのツールメニューから**アドイン**を選択します。
- 2 **参照...**をクリックし、`Participant/AddIns`を参照し、**open_interwise_report.xla**を選択します。
- 3 **OK**をクリックし、承諾してから、アドインウィンドウを閉じます。

メモ: アドインの挿入に問題がある場合には、エクセルのセキュリティレベルを変更する必要がある場合があります。